

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
パソコン実VI		一般・講義及び演習	川野 悟史
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
14	9~10	101	2年・後期

授業の目的・概要	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLの基礎知識を理解する ・CSSを理解する ・初歩的なWebページの作成実習 ・Webクリエイター認定試験全員合格を目指す 		
実務経験			
達成課題・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・HTMLの基礎を理解しWebページの設計をし、簡単なCSSを使ったWebページ管理ができるようになる。 ・12月のWebクリエイター能力認定試験エキスパート級全員合格 		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	課題提出	与えられたデータからWebページを作成する。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	課題提出 20% 出席率 30% 授業態度 30% 模擬テスト 20% ※出席率70%なければ不可		

使用教科書	Webクリエイター能力認定試験(HTML4.01)初級公認テキスト&問題集 Webクリエイター能力認定試験 スタンダード 公式テキスト&問題集 Webクリエイター能力認定試験 エキスパート 公式テキスト&問題集
参考図書	Webクリエイター能力認定試験(HTML4.01)上級公認テキスト&問題集 HTML5&CSS3ワークブック HTML&CSSクイックマスター オリジナルプリント

授業計画表

月	週	単 元	学習内容
9	1	HTMLの基本操作(HTML4.01)	HTMLの基本 HTMLの記述 CSSの基本 CSSの記述
	2		練習問題 オリジナルプリントでの練習問題
	3	HTMLの応用操作(HTML4.01)	HTML、CSSの応用操作方法 練習問題 練習問題
	4		オリジナルプリントでの練習問題
10	5	Webクリエイター認定試験スタンダード級(HTML5)公式テキスト	Webサイト・制作の基礎知識 HTMLの基礎 CSSの基礎 各ページの作成(画像挿入・テーブル作成、フォーム作成 サンプル問題
	6	Webクリエイター認定試験スタンダード級(HTML5)問題集	模擬問題1～3 サンプル問題
	7		Webサイト・制作の基礎知識 HTMLの基礎と応用
	8		CSSの基礎と応用 高度なリストのデザイン
11	9	Webクリエイター認定試験エキスパート級(HTML5)公式テキスト	テキスト主体のページを作成 テーブルとそのスタイル ギャラリーレイアウト フォーム
	10		
	11		Webデザインの基礎知識 サンプル問題
	12	Webクリエイター認定試験エキスパート級(HTML5)問題集	模擬問題1～3 サンプル問題
12	13	HTML&CSS実践演習	実際にあるサイトを参考に、同じように作る
	14	Webクリエイター認定試験実施	

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
パソコン実習Ⅶ(デザイン)		専門・実習	足達 祐美
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
14	2	46	2年・後期

授業の目的・概要	①マイクロソフトOffice(Word、Excel、Access、PP)の実務レベル向上 ②ビジネス文書、企画書、報告書などの作成ができる ③タイピング技術を上げ、入力スピードを上げる ④Excelデータの集計 ⑤プログラミング言語習得 ⑥情報デザインにおけるスキル習得 ⑦イラストデザイン技術		
実務経験			
達成課題・到達目標	①マイクロソフトOffice(Word、Excel、Access、PP)を仕事で生かせる ②訴求力の高い文書作成ができる ③レイアウトテクニックを身につけ、DM・ポスターなどが作成できる ④関数を使用することができる。 ⑤プログラミング言語(Python・Java・JavaScript言語の基礎力向上) ⑥情報デザインにおけるスキル習得 ⑦イラストデザイン技術		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	課題提出及びプログラミング言語検定実施	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①成果物の評価 50% ②授業態度 10% ③出席率 20% ④検定レベルにより、評価20% ★課題提出できなければ不可、出席70%なければ不可		

使用教科書	tiacオリジナルプリント プログラミング検定 Webアプリを使用
参考図書	レイアウトテクニック 関数テクニック

授業計画表

月	週	単 元	学習内容
9月 10月 11月 12月	1 ┆ 3	Word実務演習 ビジネス文書作成	社内文書、企画書、出張報告書、社内報、差し込み印刷、ラベル作成、スケジュール表、見積書、注文書、現金出納帳、社外文書、社内ポスター、はがき作成、カレンダー、販売計画書、回覧板、請求書、納品書、送付状など…
	4 ┆ 8	レイアウトデザイン	①デザインの基礎 ②イラストを作った紙面づくり ③写真を使った紙面づくり ④写真にくりぬき効果を付けた紙面づくり ⑤グラデーション効果を付けた紙面づくり ⑥段組みを使った紙面づくり
	9	社内向けプレゼン資料作成 社外向けプレゼン資料作成 効果的なグラフの作り方と魅せ方	ロゴの作成、イベントチラシ作成、商品説明チラシ作成
	10 ┆ 14	プログラミング言語習得	見えるがグラフを作成するための基礎 グラフを自在にデザインする 大小比較を表現するグラフ 内訳を表現するグラフ 分布を表現するグラフ 相関関係を表現するグラフ 特殊なグラフの作成
			プログラミング検定のアプリを使い 各言語の基礎から習得 検定レベル1～6まで実施

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
パソコン実習 VIII(ムービー)		専門・実習	松本 健
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
10	3~7	44	2年・後期

授業の目的・概要	動画編集ソフトを使用し、映像表現に必要なスキル能力を習得する。表現できる基本的な技術を身につける。		
実務経験			
達成課題・到達目標	画像や動画を適切に加工し、動画を通して伝達するスキルを習得する。		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	課題提出		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①成果物評価 70% ②課題提出率 10% ③授業態度 10% ④出席率 10%		

使用教科書	
参考図書	

授業計画表

月	週	単 元	学習内容
11	1	動画編集 基本	簡単な動画編集に取り組む
	2	課題制作 1	課題テーマに基づいた動画制作
	3		
	4	課題発表 1	制作した課題の発表・講評
課題提出			
12	5	課題制作 2	課題テーマに基づいた動画制作
	6		
課題提出			
1	7	課題発表 2	制作した課題の発表・講評
	8	課題制作 3	卒業課題の作成
	9		
課題提出			
2	10	課題発表 2	制作した課題の発表・講評

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
ビジネス実技Ⅱ		一般・講義	田中 香江
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
32	2	64	2年・通年

授業の目的・概要	職業観、キャリア形成の構築、「働く」を意識したマナーを身につける。		
	業務に必要な文書作成・訪問・来客応対・電話応対・交際業務などの基礎知識を学ぶ。1年生1月からビジネス能力検定ジョブパスの勉強を進めており、その継続の科目である。検定試験は、7月に実施。		
	その後は、社会人になる前に必要な知識を習得する。		
実務経験	※実務経験のある教員等による授業科目		
	法人企業において受付業務、接客その他の業務		
達成課題・到達目標	①「目標とする社会人像」を理解できる ②ビジネス能力検定3級全員取得		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	前期:1分スピーチ、各章の確認問題 後期:電話応対	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
		100%	
評価方法・基準	試験 50% (前期:スピーチ・課題、後期:電話応対) 出席率 20% 授業態度 30%		

使用教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト ビジネス能力検定ジョブパス3級公式問題集
参考図書	ビジネス能力検定ジョブパス3級要点と演習

授業計画表

月	週	単 元	学習内容
4	1	オリエンテーション	学生時代に学ぶこと・自己紹介
		来客対応と訪問のマナー	接客用語、来客対応、面談、名刺交換、訪問、会食等
	2	〃	〃
		〃	〃
5	3	仕事への取り組み方	スケジュール管理、業務の種類、ツールとしてのパソコン
		〃	〃
	4	ビジネス文書の基本	種類(社内文書・社外文書)、役割、書き方
		〃	〃
		〃	〃
	5	電話対応の重要性	電話の受け方・かけ方、取次ぎの仕方
		〃	〃
6	6	統計・データの読み方・まとめ方	表やグラフの特徴、見方、活用の仕方
		〃	〃
	7	情報収集とメディアの活用	新聞やインターネットの活用
		〃	〃
	8	会社を取り巻く環境と経済の基本	戦後からの経済の流れ、ビジネスの基本用語
		〃	〃
	9	模擬テスト	模擬テストと解説
		模擬テスト	〃
	10	模擬テスト	〃
		模擬テスト	〃
	11	模擬テスト	〃
7		模擬テスト	〃
	12	模擬テスト	〃
		模擬テスト	〃
	13	総復習	
		〃	
9	14	仕事を身につける20のステップ 11「社会人としての自覚を持つ」	社会人に求められること
		〃	仕事を進める上で必要なもの
	15	仕事を身につける20のステップ 12「プロ意識を持つ」	プロ意識って何?
		〃	顧客第一の姿勢について

	16	仕事を身につける20のステップ 13「組織内のコミュニケーションを考えよう」	仕事の上でのチームワーク
		〃	ハウレンソウについて
	17	仕事を身につける20のステップ 14「1対1のコミュニケーションを考えよう」	相手を尊重しよう
		〃	効果的な話し方
10	18	仕事を身につける20のステップ 15「自分の意見をしっかりと伝えよう」	意見を形成するポイント
		〃	ストーリーを考える
	19	仕事を身につける20のステップ 16「効果的なプレゼンテーションをしよう」	プレゼンテーションの流れ
		〃	説得力あるプレゼンテーション
	20	仕事を身につける20のステップ 17「ビジネスマナーを身につけよう」	立ち居振る舞いなど
		〃	就業中のルールを守る
	21	仕事を身につける20のステップ 18「言葉づかいで印象を変えよう」	敬語の使い方
	〃	発声練習	
11		〃	〃
	22	電話の受け方の基本	基本の流れ
		〃	〃
	23	電話受け方応用	受け方の応用の流れ
		〃	〃
	24	電話かけ方基本・応用	かけ方の基本の流れ、応用
		〃	〃
25	電話かけ方基本・応用	かけ方の基本の流れ、応用	
12		〃	〃
	26	電話かけ方基本・応用	かけ方の基本の流れ、応用
		ビジネス文書の基礎知識	文書の種類、基本形
	〃	〃	
1	27	社内文書	様々な社内文書
		〃	〃
	28	社外文書	様々な社外文書
		〃	〃
	29	ビジネスマナー全般	
	30	〃	
2	31	〃	
	32	〃	

授 業 概 要

クラス: ITビジネス科2年

科 目 名		授業の種類	授業担当者
商業簿記Ⅱ		専門・講義	松本 健
週 数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
14	5～9	108	2年・後期

授業の目的・概要	1. 企業における日常発生する取引を合理的・能率的に記帳する知識と技術を身につける。 2. 取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的な仕組みについて理解を深める。		
実務経験	※実務経験のある教員等による授業科目		
	法人企業において経理業務の補助		
達成課題・到達目標	日商簿記検定 簿記検定3級 合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施しない		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	① 課題提出 30% ② 授業態度 15% ③ 出席率 15% ④ 模擬試験 40%		

使用教科書	よくわかる簿記シリーズ 合格テキスト 日商簿記3級 商業簿記 Ver.12.0 よくわかる簿記シリーズ 合格トレーニング 日商簿記3級 商業簿記 Ver.12.0
参考図書	TAC 日商簿記 的中答練 3級 Net-School 日商簿記3級 完全予想模試 TAC あてるTAC直前予想 3級

授業計画表

月	週	単 元	学習内容	
9	1	簿記の基礎 復習①	財務諸表と簿記の5要素	
			〃	
			〃	
	2	商品売買 復習②	商品売買取引	
			〃	
	3	現金等取引 復習③	現金 当座預金	
			約束手形	
		その他の取引 復習④	有形固定資産の取得・売却・賃借	
	その他			
	4	決算 復習⑤	決算整理事項・決算振替	
			〃	
			〃	
10	5	答練①	模擬試験の実施	
			〃	
			〃	
			〃	
	6		〃	
	7		〃	
11	9	答練②	パソコンを使用し模擬試験を実施	
			〃	
			〃	
	10			〃
				〃
	11			〃
				〃
12		答練③	〃	
			〃	
			〃	
13		本試験の実施	〃	
			〃	
14			〃	
			〃	

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシー I		専門・実習	足達、松本
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
12	12~18	143	2年・前期

授業の目的・概要	ITパスポート試験に出題される、ストラテジ分野の理解。 ITパスポート試験に出題される、マネジメント分野の理解。 ITパスポート試験に出題される、テクノロジー分野の理解。 ITパスポート試験に合格するための知識を習得		
実務経験			
達成課題・到達目標	ITパスポート試験の合格 コンピュータ技術要素について、仕事に応用できる		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	過去問題を中心とした模擬試験を行う。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	① 課題提出 30% ② 授業態度 20% ③ 出席率 20% ④ 試験結果 30%		

使用教科書	FOM 「よくわかるマスター ITパスポート試験」 ノート&練習問題プリント
参考図書	

授業計画表

月	週	単 元		学習内容
4	1	ストラテジ	第1章 企業と法務	1-1 企業活動 1-2 法務
		マネジメント	第4章 開発技術	4-1 システム開発技術 4-2 ソフトウェア開発管理技術
	2	テクノロジー	第7章 基礎理論	7-1 基礎理論 7-2 アルゴリズムとプログラミング
	3	ストラテジ	第2章 経営戦略	2-1 経営戦略マネジメント 2-2 技術戦略マネジメント 2-3 ビジネスインダストリ
5	4	マネジメント	第5章 プロジェクトマネジメント	5-1 プロジェクトマネジメント①
	5	テクノロジー	第8章 コンピュータシステム	8-1 コンピュータ構成要素 8-2 システム構成要素 8-3 ソフトウェア 8-4 ハードウェア
	6	マネジメント	第5章 プロジェクトマネジメント	5-1 プロジェクトマネジメント②
		ストラテジ	第3章 システム戦略	3-1 システム戦略
	7	テクノロジー	第9章 技術予想	9-1 ヒューマンインターフェース 9-2 マルチメディア
6	8	テクノロジー	第9章 技術予想	9-3 データベース 9-4 ネットワーク 9-5 セキュリティ
		ストラテジ	第3章 システム戦略	3-2 システム企画
	9	マネジメント	第6章 サービスマネジメント	6-1 サービスマネジメント
	10	マネジメント	第6章 サービスマネジメント	6-2 システム監査
	11	テクノロジー	第10章 表計算	10-1 表計算ソフト
7	12	テクノロジー	第10章 表計算	10-2 式
		テクノロジー	第10章 表計算	10-3 関数の利用

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシーⅡ		専門・講義	松本 健
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
4	15	56	2年・前期

授業の目的・概要	基礎的なコンピュータ関連知識を習得し、国家資格である「ITパスポート試験」を取得する学習		
実務経験			
達成課題・到達目標	ITパスポート試験の合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する		
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	令和3年度	100%	75%
評価方法・基準	定期試験 25% 検定結果 25% 出席率&授業態度 25% 課題提出 25%		

使用教科書	① ITパスポート試験 平成31年～令和4年 ② TAC ITパスポート試験 模擬試験
参考図書	

授業計画表

月	週	単 元	学習内容
6月	1	過去問題・模擬試験の実施	平成29年 春 ITパスポート試験
			平成29年 秋 ITパスポート試験
			平成30年 春 ITパスポート試験
			平成30年 秋 ITパスポート試験
7月	2		平成31年 春 ITパスポート試験
			令和元年 秋 ITパスポート試験
			令和2年 春 ITパスポート試験
			令和3年度 TAC 模擬試験
	3		
			令和2年 秋 ITパスポート試験
			令和3年 春 ITパスポート試験
			令和3年 秋 ITパスポート試験
4			
	令和4年 春 ITパスポート試験		
	令和4年度 TAC 模擬試験		
7月中旬		ITパスポート試験 受験	

授業概要

クラス： ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
情報リテラシーⅠ(テクノロジー系)		専門・実習	足達 祐美
情報リテラシーⅢ(J検)			
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
12	6～11	130	2年・前期

授業の目的・概要	①ITパスポート試験に出題されるテクノロジー分野の理解 ②コンピュータ・システムや技術要素を理解し、仕事に応用できる		
実務経験			
達成課題・達成目標	①ITパスポート試験合格 ②情報活用検定2級1級合格 ③コンピュータ技術要素について、仕事に応用できる		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	ITパスポート試験に出る問題を使ったペーパーテストを実施	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
評価方法・基準	①確認テスト結果	50%	
	②検定結果	20%	
	③出席率	20%	
	④授業態度	10%	
使用教科書	①ITパスポート試験対策テキスト ②プリント ③ITパスポート試験 過去問題 4回分		
参考図書			

授業計画表

月	回	単元	学習内容			
1	1	第7章 基礎理論	7-1 基礎理論	7-1-1 離散数学		
				7-1-2 応用数学		
				7-1-3 情報に関する理論		
	2		7-2 アルゴリズムとプログラミング	7-2-1 データ構造		
				7-2-2 アルゴリズム		
				7-2-3 プログラミング プログラミング言語		
	7-3 章末問題		問題練習			
	2		3	第8章 コンピュータ・システム	8-1 コンピュータ構成要素	8-1-1 プロセッサ
						8-1-2 記憶装置
8-1-3 入出力デバイス						
8-2 システム構成要素		8-2-1 システムの構成				
		8-2-2 システムの評価指標				
		4			8-3 ソフトウェア	8-3-1 OS
8-3-2 ファイル管理						
8-3-3 開発ツール						
8-3-4 OSS						
5	8-4 ハードウェア	8-4-1 ハードウェア				
		8-5 章末問題	問題練習			
3	6	第9章 技術要素	9-1 ヒューマンインタフェース	9-1-1 ヒューマンインタフェース		
				9-1-2 インタフェース設計		
	7		9-2 マルチメディア	9-2-1 マルチメディア技術		
				9-2-2 マルチメディア応用		
4	8	9-3 データベース	9-3-1 データベース方式			
			9-3-2 データベース設計			
			9-3-3 データ操作			
			9-3-4 トランザクション処理			
	9	9-4 ネットワーク	9-4-1 ネットワーク方式			
			9-4-2 通信プロトコル			
			9-4-3 ネットワーク応用			
	10	9-5 セキュリティ	9-5-1 資産情報とセキュリティ			
			9-5-2 情報セキュリティ管理			
	9-5-3 情報セキュリティ対策 情報セキュリティ実装技術					
	11	9-6 章末問題	問題練習			
			9-6 章末問題	問題練習		
5	12	総合練習問題	過去問題			

授業概要

クラス: ITビジネス科2年

科目名		授業の種類	授業担当者
色彩		専門・講義及び演習	松本 健
週数	授業コマ数(週あたり)	授業時間数	学年・時期
11	6	66	2年・前期

授業の目的・概要	「色彩に関する基本的な知識を理解する」 ● 色の表示方法 ● 色彩心理 ● 色彩調和		
実務経験			
達成課題・到達目標	文部科学省後援 色彩検定3級 合格		
定期試験	実施の有無	実施概要	
	実施する	色彩検定に準じた試験問題を実施する。	
検定試験	実施日	目標合格率	昨年度合格率
	令和3年6月	100%	100%
評価方法・基準	● 定期試験 25% ● 検定試験 25% ● 出席&授業態度 25% ● 課題提出 25%		

使用教科書	色彩検定公式テキスト3級編
参考図書	2016年～2021年度 色彩検定過去問題集

授業計画表

月	週	単元	学習内容
4月	1	第1章 色のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ●色はなぜ見えるのか？ ●光とは何だろう？ ●眼のしくみ
	2	第2章 光と色	<ul style="list-style-type: none"> ●照明と色の見え方 ●混色 ●加法混色と減法混色 ●混色を応用した身近な例 ●混色のまとめ
	3	第3章 色の表示	<ul style="list-style-type: none"> ●色の分類と三属性 ●PCCS表色系 ●色名
	4	第4章 色彩心理	<ul style="list-style-type: none"> ●色の心理的効果 ●色の視覚効果 ●色の知覚効果
5月	5	第5章 色彩調和	<ul style="list-style-type: none"> ●配色の基本的な考え方 ●色相から配色を考える
	6	第6章 色彩効果 第7章 色彩と生活	<ul style="list-style-type: none"> ●色彩と構成 ●色彩と生活
	7	第8章 ファッション 第9章 インテリア	<ul style="list-style-type: none"> ●ファッションとは ●インテリアと色彩
	8	単元別の復習	単元別問題の実施
6月	9	検定対策	2016年度過去問題 2017年度過去問題 2018年度過去問題
	10	検定対策	2019年度過去問題 2020年度過去問題 2021年度過去問題 2022年度過去問題
	11	検定対策	模擬問題・予想問題の実施